

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
1207	インド文化論 <Studies in Indian Culture>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
インド文学	和田 壽弘(WADA Toshihiro)		前期	隔週木曜：4・5限
講義題目 Title	インド文化学セミナー			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	インド思想史の知識が必要である。 インド哲学 / インド文化学を専門とする学生が受講可。			
授業の目的 Purpose	<p>アジアの思想や日本の思想に大きな影響を与えたインド文化の特徴を宗教・思想から理解するために、様々な文化面におけるテーマを取り上げる。「社会科目」に必要な哲学的宗教学的素養を培うことになる。</p> <p>The aim of this course is to help students discuss logically and learn how to make presentation in terms of a paper or report and to develop their insight.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>インド文化の深さと広さを体感できるように、時代の流れに沿ってテーマを取り上げる。参加者がレポーターとなって報告原稿を作成し、それに基づいて議論する。併せて、レポート・論文の書き方の習得も目指す。</p> <p>授業計画</p> <p>第1回：アジアにおけるインド文化 第2回：ヴェーダ・ブラーフマナの宗教 第3回：ウパニシャッドの思想 第4回：仏教以外の非正統の宗教思想 第5回：初期仏教の思想 第6回：仏伝の諸相 第7回：仏教美術 第8回：ヒンドゥー美術 第9回：バラモン教儀礼 第10回：法典の思想 第11回：実利論の伝統 第12回：叙事詩における宗教思想 第13回：叙事詩における哲学 第14回：『バガヴァッド・ギーター』の思想 第15回：レポートの総括</p>			
教科書 テキスト Textbooks	早島鏡正ほか3名『インド思想史』東京大学出版会、1982。			
参考書 References	講義の中で指示する。資料などは講義の中で配布する。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	授業の前に提出されるレポートを批判的に熟読することが求められる。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	提出するレポート50%、平常点（授業への積極的参加の度合い）50%。			

連絡方法  
Contact  
information

E-mail: [twada@lit.nagoya-u.ac.jp](mailto:twada@lit.nagoya-u.ac.jp)  
Phone : 052-789-2278